

2018

ぶうげん

10  
月号

No.302

びりあ

ホームページ <http://www.hahashochu.ogasawara.ed.jp/>

## 自分で体験することが学び方の基本

校長 横山 優美

今年の中秋の名月は9月24日でした。夜空を見上げ、月の明るさ、美しさに心を動かされた方が多かったのではないのでしょうか。澄んだ秋の夜にきれいに浮かぶ月を眺め、心がすうっと透明になるような感覚になり、自然の素晴らしさを感じました。

「何かを学ぶためには、自分で体験する以上にいい方法はない。」これはドイツ生まれの物理学者（理論物理）アルベルト・アインシュタインの言葉です。実際に外に出て月を見るという体験をしたから自然の美しさや豊かさ、尊さを強く感じる事ができたのです。テレビやインターネットのニュースで「中秋の名月」の説明や映像を見ても、月の美しさは実感しにくいのです。

人は自分で地道に積み重ねて体験したことは真にわかるともいわれます。たとえば、テスト勉強で、参考書などにうまくまとめてあるものを付け焼刃で覚えても、テストが終わるとすぐに忘れてしまいます。ところが、自分でよく考え工夫してまとめた内容は不思議とよく覚えていたり、他の場所で役に立ったりすることがあります。これは、自分で苦労して地道にくり返した「体験」が真の学力や対応力・判断力として根付き、応用力にもなっている場合があるのです。様々な学びを苦労し、工夫し自分で納得して楽しんでいく「体験」があってはじめて、自分の多様な能力となっていくわけです。また、人間には体験を基にした予測・予知能力があることから、体験したことから飛躍した学習成果も生まれる場合もあります。

毎日の学校生活はまさに体験活動です。学習体験もその一つです。その中で子供たちは人として必要なことを学んで成長しています。学んだことを知識として蓄えることが目的ではありません。今、求められている力は学んだことをもとに、自分で考え、創造し、実践していく力です。実践の段階では、試行錯誤を繰り返し、失敗することも多いでしょう。逆に失敗の数だけまた、成長していくのかもしれない。さあ、学びの秋です。貴重な体験を積み重ねて、真の学習を積み上げてほしいと思います。

学力向上の取り組みの一つとして、中学校の教員がチームティーチングや学習支援で小学校の一部の授業に入り、一緒に指導をしています。子供たち一人一人の学習課題に合わせたわかる授業・できるようになる授業、興味・関心を高める質の高い授業を目指しています。例えば、6年生の外国語に英語担当、高学年の図工（木工）に技術担当、高学年の算数に数学担当・技術担当、高学年の理科の観察実験授業に理科担当などです。今後さらに充実させていきます。

10月14日（日）は学校公開・道徳授業地区公開講座です。ぜひご来校いただき、子供たちの学習の様子や道徳の授業をご参観ください。また、懇談会へのご参加をお願いいたします。

## 多くの想いを感じて ～ 硫黄島にける想い ～

9月15日（土）から17日（月）までの3日間、中学2年生4名は硫黄島訪島事業に参加させていただきました。硫黄島訪島事業を実施するにあたり、多くの方々の協力・支えがありました。運営に携わってくださった地域の方々、生徒のために母島の戦跡を紹介してくださった方、南硫黄島・北硫黄島について事前に、レクチャーしてくださった方。心より感謝申し上げます。



今回、中学2年生の総合の学習テーマとして、『見て・知って・伝える』の3つの目標を掲げました。事前学習を通じて、母島の戦跡を『見て』、戦争の歴史、当時の硫黄島の生活や自然環境などを『知って』。気持ちを高め、今回の硫黄島訪島事業に臨みました。

9月16日の明け方、6時に甲板に出ると、強烈な日差しの中に断崖絶壁の南硫黄島が見えました。アカオネツタイチョウを探す生徒や、昨年の調査隊が、どのルートから登山したのかを考える生徒など、事前学習で学んだことを活用している様子が伝わってきました。事前学習で教えていただいたからこそ、成しえた深い学びでした。

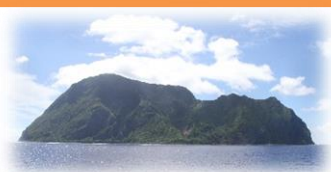
そして、洋上慰霊祭。事前に生徒たちから「今回の硫黄島訪島事業は遊びで参加してはいけない、ふざけてはいけない、あくまでも慰霊祭なのだから。」という言葉が上がりました。教員からの言葉ではなく、生徒たちの素直な心から出てきた言葉でした。その言葉通り、凛とした態度で洋上慰霊祭に臨む4人の姿から、小笠原の中学生としての頼もしさ、平和を願う想いの強さを感じました。誓いの言葉では、「(硫黄島の)豊かでこんなに素晴らしい、島や人達の暮らしは一瞬で奪われました。戦争という恐ろしいものに。」など、一瞬で幸せを奪っていった戦争の悲惨さを述べる言葉や、「戦場へ行った夫や父の無事を、ただ祈ることしかできない内地の家族の気持ちを考えると、心が張り裂けそうになります。」など戦場に向かった家族を想う気持ちがつづられていました。そして、生徒たちの決意も述べられていました。『硫黄島について調べ、硫黄島の日差しを受け、戦跡を目の当たりにし、戦争の悲惨さを身近に感じることができる私たち小笠原の中学生は、これから率先して戦争の恐ろしさと、平和の尊さを伝えていく使命があると思います。』この言葉に込められた生徒たちの決意、将来の担い手としての想いはこれまでの学校教育における平和教育だけで培われたものではありません。



生徒たちが、これほどまでに平和への意識を高くもちえた背景には、平和教育に対する地域の支えや環境、そして保護者の方々からの日々の声掛けによって根付いたものだと思います。だからこそ硫黄島訪島事業へ小笠原の中学生として、地域の想いを背負い臨んだ4人の姿に成長を感じられた3日間でした。これまで関わってくださったすべての方へ感謝いたします。

今回、事前学習や硫黄島訪島事業を通して、生徒たちは多くのものを『見て』、多くの想いを『知って』きました。これからは生徒たちが将来の担い手として『伝えて』いく番です。

そのスタートとして10月14日（日）に総合の学習発表会を行います。お世話になった方々への感謝も込め、生徒たちが『想い』を伝えます。お時間よろしければお越しください。





# プー ル 納 め

小学2年生 担任 海野浩也

9月13日(木)にプール納めを行いました。お忙しい中、たくさんの保護者の方々にご参観いただきましてありがとうございました。今年のプール納めでは「リズム水泳」から始まり「発表会」「母島オリンピック」と発表をしました。

「リズム水泳」では、「崖の上のポニョ」の歌に合わせて体を動かし、水慣れをしました。「じゃんけんぽい!」と声を合わせて、1年生から6年生まで楽しく活動しました。

「発表会」では、今年度の水泳検定で合格した級の泳ぎを発表しました。今年度の水泳で取り組んだことを発表し、それぞれの目標に向けて大勢の人たちの声援を受けて泳ぎました。声援を受けることで練習以上の力を発揮している子もいて、「すごい!」「速い!」と言われることで自信をもっていました。

「母島オリンピック」では、低学年は宝探し、高学年はリレーを行いました。自分たちのチームを一生懸命に応援する声がプールに響きました。

次年度は子供たちそれぞれが新たな目標に向けて、さらに上達できるように指導していきます。



## 「 あ い さ つ 」 に つ い て 考 え る

生活指導部 伊勢直行

先日9月4日(火)から10日(月)まで1週間、朝のあいさつ運動が行われました。今回は集団下校班でグループを組み、日替わりで当番を担当しました。元気な声であいさつをする子、恥ずかしそうにあいさつをして通りすぎる子、うながされてあわててあいさつをする子など様々でしたが、笑顔で元気のよいあいさつが朝から飛び交う様子を見ていると、大変ほほえましい気持ちになると同時に、とても晴れ晴れとした気持ちが心の中に広がっていきました。

さて今回のあいさつ運動を機に、あらためて、「挨拶(あいさつ)」について考えてみました。よく、「挨拶は大事」、「笑顔で挨拶を」、「挨拶をしないとダメ」などと言われますが、なぜ「挨拶」はそんなに大事なのでしょうか。

調べたところ、挨拶は元々、禅宗で問答を交わして相手の悟りの深さを試すことを「一挨拶(いちあいいっさつ)」といい、その言葉に由来するそうです。「挨拶」には「押し開く」、「お互いに心を開く」という意味があり、「拶」には「迫る」、「擦り寄る」といった意味があります。つまり、「出会った人が互いに心を開いて相手に迫っていく」、「相手を認め、信頼をしている」ということが挨拶とされたそうです。それが現在では、他人に対して尊敬や親愛、感謝の気持ちを表わす言葉、動作、文面などを意味するようになっているそうです。

結局、挨拶には、自分が他の人とどのようにコミュニケーションをとっていくのか、という意識や姿勢が表れるように思います。ですから、これから社会に出て多くの人と関わり、困難があっても、共に解決し生きていかなければならない子どもたちにとって、挨拶がしっかりとできるようになることは、とても大切なことだと思います。挨拶の果たす役割と意味を考えて、みんなが相手への思いやりや感謝の気持ちを表現できるようにしていきたいです。

今回のあいさつ運動を経て、ぜひ「あいさつ週間」で終わらせず、「あいさつ習慣」にしていきたいでしょう。

## 10月の生活指導

### 生活目標

#### 「自分から進んで働こう」

- ・周りの人に感謝しよう。
- ・力を合わせて仕事をしよう。
- ・社会に役立つ大切さを理解しよう。

### 安全指導 9日(火)

#### 「刃物の取り扱いと道具の借用・返却について」

が、重点指導目標です。

今月は、学芸会に向けて道具を作るなど、刃物を使用する機会が増えます。先生に無断で使用することのないよう、ルールを守り安全に気を付けて使い、きちんと返却するよう指導を徹底します。

### 避難訓練 16日(火)

校内での火災発生を想定した避難訓練を行います。今回は、児童生徒への避難訓練開始時刻の予告はしません。

緊急時に落ち着いて、素早く身を守るための行動をとれること等、普段の訓練の成果を確認する機会とします。

## 平成30年度 学芸会

11月3日(土 文化の日) 開演8時45分

詳細につきましては、後日改めてお知らせいたします。

## 日曜学校公開 道徳授業地区公開講座

学校の道徳授業を公開し、保護者や地域の皆様とともにこれからの道徳教育を考えることを目的としています。

◆日時 10月14日(日)

〔日曜学校公開〕1～6校時

(8時20分から15時10分まで)

※4校時は懇談会のため授業公開はいたしません。

〔道徳授業地区公開講座〕

①道徳授業公開講座 1校時から3校時まで

②懇談会 11時15分から12時05分まで

たくさんのご参加をお待ちしております。よろしくお願いたします。

## オリンピック・パラリンピック教育

オリンピック・パラリンピック教育の一環としてパラリピアンをお招きして、体験授業や講演をしていただきます。

◆日時 10月29日(月)・30日(火)

◆講師 ウエイトリフティング三浦 浩 選手

・パラリンピック2大会連続出場 (ロンドン・リオ)

・リオパラリンピック パワーリフティング 5位入賞

・東京オリンピックでは、パワーリフティングで日本人初のメダルを期待されています。

詳しい時間割、内容は学級だより等でお知らせいたします。

10月の主な行事予定			16	火	朝礼(保健指導) 避難訓練
1	月	都民の日 後期委員会発足(小)	17	水	
2	火	中間考査1(中)	18	木	学校運営連絡協議会
3	水	中間考査2(中)	19	金	手づくりお弁当の日(全) 漢字検定 読書週間(終)
4	木	生徒総会(中)	20	土	
5	金	北村校外学習(小4)	21	日	
6	土		22	月	小(2年)・中朝礼 ウコッケイ教室(小1・2)
7	日		23	火	SC在島
8	月	体育の日	24	水	
9	火	朝礼(安全指導) 読書週間(始) PTA陶芸教室(成型)	25	木	
10	水	PTA陶芸教室(成型)	26	金	
11	木		27	土	
12	金	北村校外学習予備日(小4)	28	日	
13	土		29	月	小・中朝礼 オリンピック・パラリンピック教育
14	日	日曜学校公開 道徳授業地区公開講座	30	火	オリンピック・パラリンピック教育
15	月	振替休業日	31	水	